

決 議

高速自動車国道は、地域の交流や観光に加え、広域救急医療及び災害時の緊急輸送などに資する極めて重要な社会基盤であるとともに、物流の迅速化によって地域の経済活性化へ大きな効果が見込め、地域間の格差是正のためにも、その一日も早い整備完了が待たれる。

しかしながら、高規格幹線道路網一万四千キロの供用率は依然として六割台に過ぎず、現下の経済情勢及び公共事業政策を取り巻く状況と相まって、地方圏における高速道路建設の更なる遅れが懸念される。

高速道路はミッシングリンク（未開通区間）が解消されてこそ、その効果を最大限に発揮するものである。既存の高速道路の有効的な活用を促すためにも、高速道路ネットワークの早期整備を図るとともに、高速道路へのアクセス性を高める地域の高規格道路の整備を急ぐことが喫緊の課題となっており、これらに必要な道路整備財源を確保することが重要である。

よって、我々はここに総力を結集し、特に次の事項について実現を期すものである。

記

一、高速自動車国道を中心とした高規格幹線道路網の整備は、国の責任において着実に実施するとともに、高速道路と一体となって道路交通体系を成す地域高規格道路の整備を促進するため、必要な予算を確保すること。

一、高速道路建設の具体化に当たっては、ミッション・グリーンクを抱える地方の実情・ニーズを十分に把握するとともに、その整備促進に必要な財源を優先配分すること。

一、第四回国土開発幹線自動車道建設会議で決められた新規着工区間四区間及び四車線化六区間の事業の早期完成を目指すこと。

一、高速道路の通行料金無料化については、受益者負担の原則を逸脱することはもとより、交通渋滞や環境への負荷及び公共交通体系全体への悪影響が懸念されるので、引き続き慎重に対応すること。

以上、決議する。

平成二十二年二月二十三日

全国高速自動車道市議会協議会 第三十六回定期総会